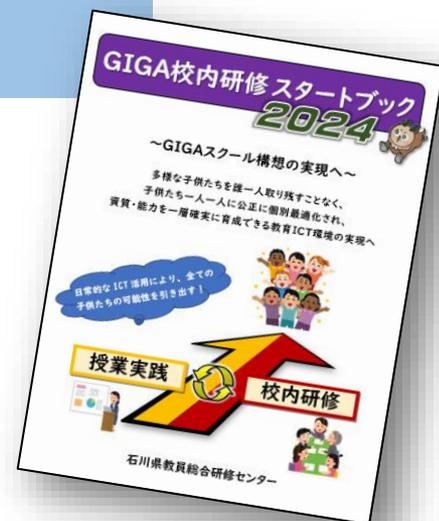


GIGA校内研修スタートブック 2024



GIGA校内研修の進め方 (参考資料)

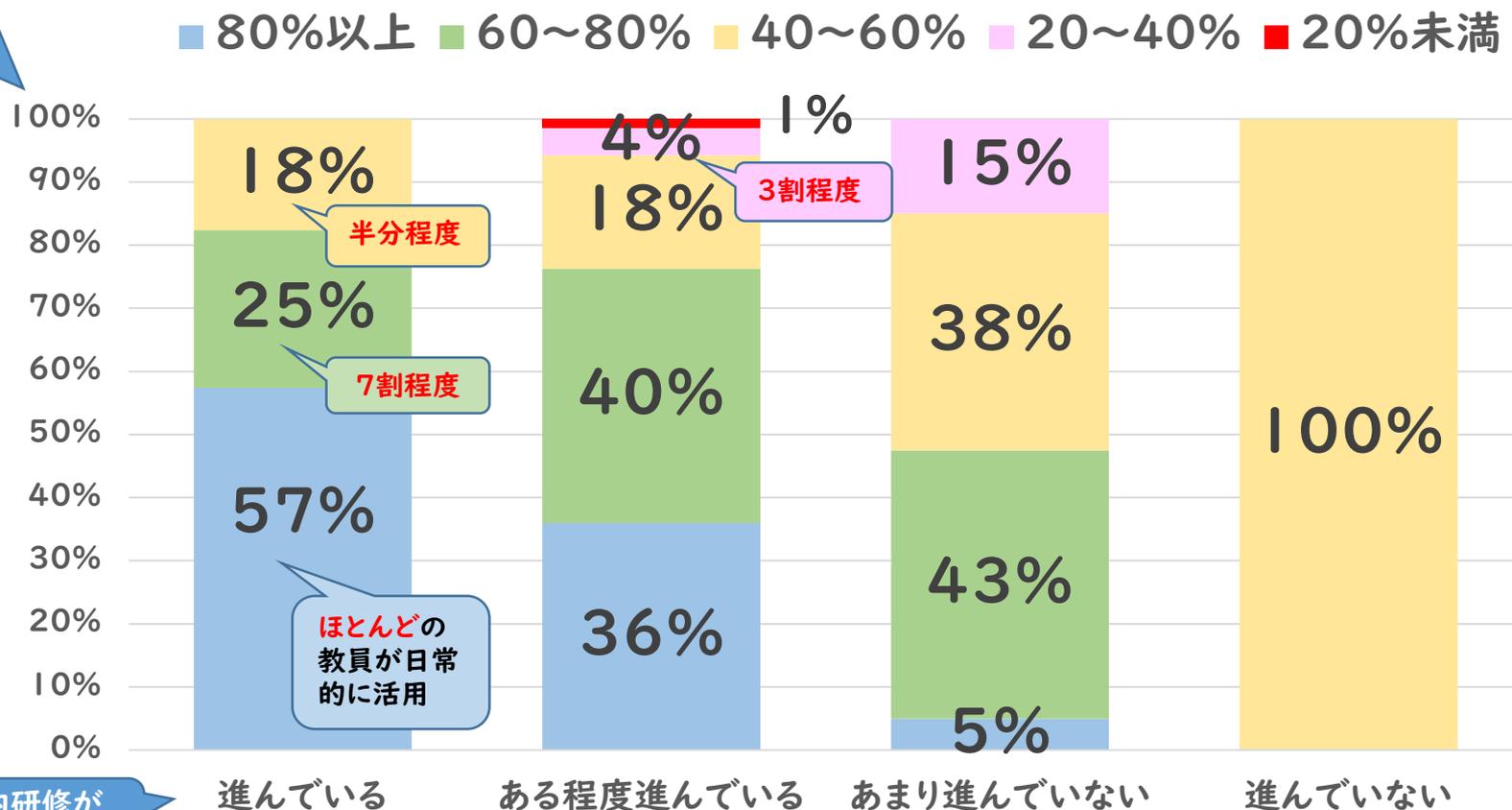


石川県教員総合研修センター

「児童生徒が端末を活用するような授業を日常的にしている教員の割合」と「GIGA校内研修が計画通り進んでいるか」の関係について

R5.12月GIGA校内研修に関する調査

児童生徒が端末を活用するような授業を日常的にしている教員の割合



GIGA校内研修が計画通り進んでいるか

GIGA校内研修を計画通り進めることができている割合と、児童生徒が端末を活用するような授業を日常的にしている教員の割合に相関が見られています。



G I G A 校内研修の進め方

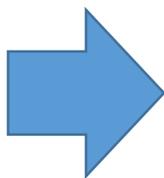
参考:スタートブック2024
pp.8-9

① 実態把握

G I G A 校内研修 年間計画
の作成・・・手順①

② 全体構想

G I G A 校内研修 年間計画
の作成・・・手順②⑤



校内研修 授業実践

G I G A 校内研修 年間計画
の作成・・・手順③④

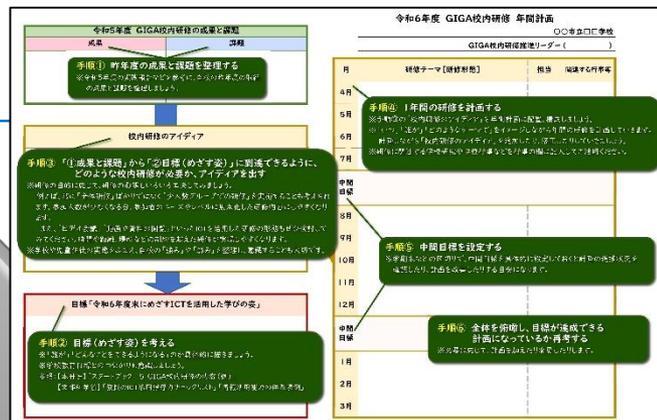
③ 企画
立案

④ 運営
・実践

⑥ 改善

⑤ 評価

G I G A 校内研修 年間計画
の作成・・・手順⑥



G I G A 校内研修の進め方

① 実態把握

令和5年度に作成した「G I G A 校内研修 実践報告」の「成果と課題」を踏まえて、今年度の学校の「強み」と「弱み」を考えましょう！



例：

昨年度、**全体的に教員の活用が進んできたという成果**がある一方、苦手な教員との活用スキルの**差が大きくなってしまった**という課題が出てますね。この要因として、活用頻度に大きな差が見られていることではないかな。

昨年度に実施した教員の学校評価アンケートから私たちの学校は **ICT機器に抵抗が少ない教員が多い**という**強み**があると思います。



教員も子供たちも昨年度と比べて、顔ぶれが変わっているから、**実態に合った**研修会にしましょう。

教員にどんなことが学びたいかや困っていることなど**アンケート**をとればいいんじゃないかな。

子供たちも**端末の活用スキル**が高くなっていますよ。

G I G A 校内研修の進め方

② 全体構想

今年度末に達成したい姿（目標）、中間目標などを設定しましょう！

校長



G I G A スクール構想の**目的**は、・・・
本校の現状として、教員は・・・、児童生徒は・・・
そのため、本校が**今年度目指す姿**は、・・・
それに向けて、1学期に目指す姿は、・・・
そのために、**組織体制**として、**推進リーダー**を・・・先生
と・・・先生にお願いします。推進リーダーの総括として推進
リーダー研修には・・・先生に参加してもらいます。そして、
全教職員で子供たちを誰一人取り残すことなく進めてい
きましょう。**G I G A 校内研修をバックアップする取組**とし
て、研修センターのサポートを適宜、活用していきます。

G I G A 校内研修の進め方

③ 企画立案

実態把握の結果をもとに、全体構想で共有した目標を達成できるように校内研修のアイデアを出し合い、いつ、どのように実施するか等具体化して年間計画に位置付けていきましょう！

例：

子供たちの活用が進んできたからこそ、子供たちが安全に安心して活用できる**情報モラル**を育んでいきたいです。

実際に**他校の実践**も見てみたいです。〇〇市の授業実践に興味があるので、**公開授業**があるときに、推進リーダーだけでなく、**希望する教員が参観に行けるようにしたい**です。



4月は異動してきた人もいるので**本校で共通実践**として行っていることを説明する研修会を早めにとりましょう。

対象者は**異動してきた人と希望者**でどうでしょう。

研修センターで「**端末活用基礎スキル研修**」があるから、苦手な人にお知らせしてみましよう。「**デジタル・シティズンシップ**」に関する研修もあるよ。

G I G A 校内研修の進め方

A 小学校の場合

③ 企画立案の参考例

出し合ったアイデアを年間計画に位置付けていく

授業づくりと端末活用は**非常に密接な関係**にあるから、本校の**学校研究と端末活用を関連させて、校内研修を計画していけば、いいんじゃないかな。**

全体での校内研修は月に1回として、内容はアンケートを取って必要感の高いものに決めましょう。あとは、週に1回**学年内での実践交流や相談会**を行いましょ。

5月に〇〇先生の**提案授業**を行い、各学年の授業にどう生かせるかを整理会で話し合いましょ。そのとき、研修センターの**指導主事マルチサポート**を申し込んで助言してもらったらいいいんじゃない。



G I G A 校内研修推進リーダー研修（第2日）で学習者用デジタル教科書の内容を扱うみたいだから、学習者用デジタル教科書の活用に関する校内研修を実施したらどうかな。教育課題研修にもなっているから、リーダーでなくても、希望者は参加できるね。

7、8月は**各学年で実施した授業での活用法を発表し合う交流会**を設定して、**1学期の取組を振り返る**機会を作らましょ。

G I G A 校内研修の進め方

B 小学校の場合

③ 企画立案の参考例

「情報活用能力の育成」をテーマに各教科の学びを整理していく

例：【情報活用能力の体系表例（IE-Schoolにおける指導計画を基にステップ別に整理したもの）（令和元年度版）】等を参考に各学年の学習内容と関わりをカリキュラム・マネジメントしていく



年間指導計画に分かるように、情報活用能力の育成に深くかかわっている学習内容を記入しましょう。

学校にある年間指導計画を使えばいいですね。どの単元でどんな力を育成できるか関連の強い能力を洗い出すって感じですね。道徳の別葉に似ていますね。

日本教育情報化振興会の「情報活用能力を育む授業づくりガイドブック」等も参考になりそうですね。



令和5年度 ○○小

教科	単元	学習内容	育成する情報活用能力
国語	第1単元	第1単元学習内容	第1単元育成する情報活用能力
算数	第1単元	第1単元学習内容	第1単元育成する情報活用能力
生活	第1単元	第1単元学習内容	第1単元育成する情報活用能力
音楽	第1単元	第1単元学習内容	第1単元育成する情報活用能力
図工	第1単元	第1単元学習内容	第1単元育成する情報活用能力
体育	第1単元	第1単元学習内容	第1単元育成する情報活用能力
総合	第1単元	第1単元学習内容	第1単元育成する情報活用能力
学 法	第1単元	第1単元学習内容	第1単元育成する情報活用能力
道 徳	第1単元	第1単元学習内容	第1単元育成する情報活用能力

すべての単元に位置付ける必要はありません。特に、関連の強い単元のところに記入していくといいでしょう。

参考様式

G I G A 校内研修の進め方

C 中学校の場合

③ 企画立案の参考例

教科部会を中心にしながら授業実践を行っていく場合

教科部会を中心に授業における効果的な活用を目指して実践していこう。うまくいった取組は、年間指導計画に残していきましょう。**特別活動**や**総合的な学習の時間**を用いて、端末を活用することも多いので、**学年を超えた全体での交流会は定期的に入れましょう。**

1年を通して、校務にもっと活用できるようにすることで教員の**ICT活用力も高まる**し、今年度は校務への端末活用を検討しましょう。**研修センターの研修に、生成AIに関する研修**があるね。



4月は〇〇先生の社会の授業を提案授業として、全員で参観しましょう。教科に関わらず、**自分の教科で活用できるところはたくさんある**よね。また、他教科や他学年を参観することで、**生徒理解にもつながる**よ。

5～6月は**スマートスクールネット**にある昨年度の「**ICT活用授業動画**」や「**G I G A スクールライブラリ**」を各自、視聴して**授業実践につなげてもらう**のはどうですか。授業実践をした記録は、各自、「どんな場面で」、「どんな活用をしたか」、「どんな効果があったか」等を記入して、**お互いに見られる**ようにすればいいと思います。**うまくいかなかったということ**もお互い知ること大切ですね。

G I G A 校内研修の進め方 D 高等学校の場合

③ 企画立案の参考例

教科部会で小中学校の学び（ICT活用授業動画）を活用する場合

今年度、**教科部会**を中心に授業における日常的な活用を目指して実践しましょう。その際、小中学校でどんな活用をしてきたかを知ることが大切になるので、SSNにある小中学校のICT活用授業動画を見て、参考にしてもらいましょう。**総合的な探究の時間**では、学年全体で取り組むし、**外部の方とつながることも多い**ので、**学年ごとにオンライン会議のやり方**などを共有する学年会を**計画**しましょう。また、**学年を超えてどんな活用をしているかを交流する研修会**を夏期、冬期休業中に1回ずつ入れましょう。

昨年度の課題として、**教科によって活用の差が大きい**とありました。すべての教科で使えるように、**6月に活用方法に困っている教科**は研修センターの「**指導主事マルチサポート**」に申し込むようにしましょう。

小中学校での学びを生かすため、**近隣の小中学校の公開授業**を積極的に見に行けたらいいですね。



昨年度、G I G A 校内研修がうまく進んでいる学校の実践として、「**ICT活用が苦手な教員はICT支援員に授業のサポートをもらっている**」というのがあったので、**カレンダー機能を共有**して、ICT支援員にサポートしてほしい授業を予約できるようにしていくのはどうでしょう。

いいですね！それでは、**5月にGoogleカレンダーの使い方について全体研修会を職員会議後**に入れるといいと思います。 **10**

G I G A 校内研修の進め方

E 特別支援学校の場合

③ 企画立案の参考例

学校の実態を考えて、実態に合った「方法」や「内容」で実施する例

今年度、本校は教育部門によって活用の仕方変わってくるので、G I G A 校内研修は教育部門ごとに進めていくことにしましょう。教育部門内でも小、中、高等部で子供たちができることは異なってくるので、**日常**は同じ教育部門内の同じ学部で情報交流を行うようにします。ただ、他の教育部門の活用についても参考になることがあるので、**全体での研修会**は学期に1回程度は計画していきます。

4月下旬に、今年度のG I G A 校内研修の**取組方針**や**1学期の計画**について、全体研修として説明しましょう。

5月は、それぞれの教員がどんな活用を試みたかについて、教員1人1人が発表する会を行きましょう。児童生徒理解にも繋がると思います。

※学校の実態に合った「方法」や「内容」で実施する事が大切です。

他校との交流も大切になると思うので、**6月**は他校ではどんな活用をして、どんな成果があったかという情報交流会を企画したいな。

7月は**全体研修**として、各教育部門で1学期の取組を振り返って、お互いの実践を**交流する研修会**にしたらどうかな。「こんな活用をしていったら、子供たちが最初はこうだったけど、こんなことができるようになったよ」というのは**子供の成長が見えて**嬉しい気持ちになるね。



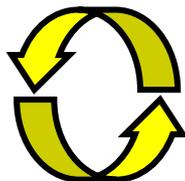
G I G A 校内研修の進め方

④ 運営・実践（G I G A 校内研修・授業実践）

「G I G A 校内研修 年間計画」にそって、G I G A 校内研修を進めるとともに、すべての教員が授業実践に取り組む！



校内研修



授業実践



G I G A 校内研修の進め方

⑤ 評価

G I G A 校内研修や授業実践のあとは、評価（振り返り）を行う！アンケートフォーム等のアプリケーションを用いることで、集計の手間も省けて業務改善につながる。
学期末には、各校で設定した中間目標に達成しているかどうかをアンケート等で確認する。



例：G I G A 校内研修の場合

今後、どんな内容の研修をしたいか等の要望を募集することで、教員のニーズに合った研修を行うことができます。

例：授業実践の場合

ねらいの達成に1人1台端末の活用が有効だったかを見童生徒の振り返りから把握することができます。

G I G A校内研修の進め方

⑥改善

授業の振り返りや各種、調査・アンケート等から得られたエビデンスをもとに今後の授業実践につなげる！

G I G A校内研修については、学校の実態に合った内容に年間計画を修正しながら、教員や児童生徒が目指す姿に達成できるように着実に進めていく。

「学校評価アンケート」において、子供が欠席したときに**授業をライブ配信**してくれてうれしかった。という意見があった一方、**子供が操作できなくて困った**という意見もあったので、端末を**日常使いできるように**明日の時間割や連絡事項は端末上で入力するようにしたいね。

それなら、**8月**に希望者を対象にして、時間割や連絡事項を入力する方法や学級ごとのホームページを作成する方法について学ぶG I G A校内研修を行うように**修正しましょう**。



「**授業評価アンケート**」で、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」という項目があまり高くなかったので、1人1台端末を活用して**自分の考えを整理・分析する活動に力を入れていこう**と思います。単元に1回は子供たちが情報を収集して、整理・分析し、発表するという場面を設けたいと思います。

G I G A 校内研修の進め方

校内研修の参考になる資料

- スマートスクールネット内のG I G Aスクールライブラリ
[G I G Aスクールライブラリ \(SSNにログインする必要があります\)](#)



- 次世代の教育情報化推進事業「情報教育の推進等に関する調査研究」
(文部科学省)

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1400796.htm



- StuDX Style (文部科学省)

<https://www.mext.go.jp/studxstyle/>



- 日本教育情報化振興会 (JAPET&CEC) 情報活用能力育成

<https://www.japet.or.jp/activities/info-ut-ability-dev/info-ut-com/>



- 情報モラル学習サイト (文部科学省)

<https://www.mext.go.jp/moral/#/>



- 静岡大学教育大学 塩田真吾研究室

<http://shiotashingo.main.jp/>

